

上田市行財政改革推進委員会 会議概要

| | | |
|---|-----------|---|
| 1 | 審議会名 | 第20回 上田市行財政改革推進委員会（第3期） |
| 2 | 日時 | 平成25年2月19日（火） 午前10時から正午まで |
| 3 | 会場 | 上田市役所 本庁舎5階 第3委員会室 |
| 4 | 出席者 | 増澤会長、宮本副会長、石巻委員、小林委員、斎藤重一郎委員、斉藤ゆり子委員、櫻井委員、佐藤委員、土屋委員、堀内理恵委員、宮沢委員、宮下委員、依田委員 |
| 5 | 市出席者 | 山本総務部長、中村行政改革推進室長、西澤係長、宮沢主査、川俣主査 |
| 6 | 公開・非公開等の別 | 公開 |
| 7 | 傍聴者 | 0人 記者 0人 |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 平成25年2月21日 |

協議事項等

1 開会（中村行政改革推進室長）

- ・山本総務部長あいさつ

2 会長あいさつ（増澤会長）

3 議事

(1) 行政委員会等の委員の報酬について

①第19回会議概要の確認

②答申案について

(会長) 本日は答申案の最終検討をしたい。それでは、事務局から説明願う。

(事務局) 資料に沿って説明

(会長) 質問があればどうぞ。

(委員) 見直し後の報酬額の増減はどうなる見込みか。

(事務局) 過去3年間の出席状況の実績から試算した結果では、全体としては年間で若干下がる。

(委員) 県内の市町村で見直したところはないのか。

(事務局) 長野県はH24年4月に見直し済みであるが、県内市町村では初めてになると思われる。このため、参考とするのが県外自治体しかなく、難しい面もあった。

(委員) 農業委員会については現行どおりなのか。

(事務局) 出席日数が非常に多いため、日額制にすると報酬額が激増してしまう。日額制を採用している自治体もあるが、農地面積が上田市と比べ小さく、委員の活動も少ないため運用可能と思われる。

(委員) 市民の多くは、農業委員が報酬を得ていることを知らない。今回の答申で報道発表されると思うが、そういったことが周知できるのも大きな効果である。

(委員) 監査委員の議員委員の日額が5,800円になっている。すべての行政委員会等について、市の審議会委員の日額である6,800円を基準として算出してきたが、これより低くなることに問題はないか。

(事務局) 答申案にも記載してあるとおり、議員報酬が支給されていることから、他の委員とは異なる視点で審議する必要があった。

また、単純に日額部分だけで見ると低いですが、月額部分として12,000円をみており、過去3年間の実績から会議等1回あたりの報酬額として試算すると8,000円程度となり、6,800円を上回る。

なお、併用制に見直した自治体の中には識見委員に支給する月額部分を、議員委員には支給しないところもある。

(委員) 答申案の最後にある、「見直し後の日額報酬の対象とする会議等については、市民の理

解が得られる基準を明確にする必要があり、審議等の内容、日数、時間などについて、合理的な開催となるよう検討し、今後も社会情勢等の変化に応じ、適切かつ柔軟な対応を望む」という明記が分かりやすく非常に良い。

(事務局) 現行の月額制であることで、委員がいつどんな会議に出席しているのか、担当事務局でも把握しきれていなかった実情もある。今回の答申により、条例改正を行う際には、日額報酬としてカウントすべき活動を明確にする必要がある。

(会長) それが非常に大事なことだと思う。ほかにはどうか。最後になるので一言ずつお願いしたい。

(委員) 委員に就任した当初は、審議資料を理解しきれない状態だったが、審議を重ねる度に、理解を深められた。今回の答申案は市民にも理解しやすく、分かりやすいものになったと思う。

(委員) 市民は行政の実態を知らないものである。したがって、見直しの経過も含めて、しっかり広報してほしい。

(委員) 先ほど話にてだが、答申案の最後の4行が良いと思う。やはり、合理的な開催ということで、例えば、短時間出席の日が2回あった場合、これを1日にまとめるといったことも合理的な見直しにつながっていくのかと思った。

(委員) 任期途中からの参加ということもあり、分からないことがたくさんあったが、これまでの皆の意見が盛り込まれた良い答申案が完成したと思う。

(委員) 行政委員等はある程度の報酬は得ているとは思ったが、額についてまでは知らない状況だった。審議するなかで、いろいろな意味で勉強でき、見直しの必要性を感じた。県内では初の見直しということで、責任というか一つの目安になるかと思うが、合理的で良い形にまとまったと思う。また、最後の4行が、今後一番尊重されるべきと思うとともに、活用してもらいたいと思う。

(委員) 昨今、市民の行政に対する給与や報酬への関心が高まっている。このような時期に、見直しができ良かったと思う。また、県内初ということで話題を呼ぶと思うが、市民に開かれた行政とするため、同時に委員報酬の実態を周知していく必要がある。

(委員) 勉強と検討を並行してきた感じである。結果的に内容のある、分かりやすい答申案にまとまったと思う。

(委員) 長年にわたり委員を務めてきた中で、以前審議した温泉施設など、一度答申した案件でも、再考する機会を設けていただけると、更に改革が進展するのではないかと感じた。

(委員) 過去に何度か答申してきて、それが現に実行されているかどうかは問題あるところだと思うが、今回の答申については非常に分かりやすく、県内初でもあるので強力で推し進めてほしい。

(委員) これまでも、ある程度政治や行政に関わってきたつもりだったが、実際に審議をする中で知らないことも多く大変勉強になった。

民間的な感覚としては、報酬自体極めて高いわけではなく、訴訟を起こさせるレベルの問題ではないというのが諮問を受けた時の印象であった。それはそれとして非常に透明性の高い形でまとまったことが大きな成果だと思う。

(委員) 繰り返しになるが、答申案の最後の4行が非常に素晴らしい。

(副会長) 委員の皆さんはじめ、会長にはご苦労いただいた。また、さまざまな意見をうまく集約していただいた事務局が一番大変だったものと思う。審議する中で、報酬とは勤務の対価であることがよく理解できた。

今回の答申案がベストであるか、また市長がどのように捉えるかは分からないが、会長には特に感謝したい。

(会長) 皆さんから多くの意見をいただき、素晴らしい答申案になったと思う。何度も話にあがっているが、答申案の最後の4行に、今回の見直しの意義がすべて集約されているように感じる。それぞれ、これに関わっている人たちがこの意識を持つということが非常に大事なことである。

それでは、皆さんからの意見をもって、答申案の内容を了解いただいたということで良いか。

(委員一同) 賛同

(会 長) 次回は答申ということでよろしくお願ひしたい。

4 その他

答申日 平成25年3月13日(水) 午後4時から(市役所 本庁舎3階 第1応接室)

- * 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1週間以内に行政改革推進室へ提出してください。
- * 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。